

2022 答志島ランデブー実施要項 富貴ヨットクラブ・クルージング委員会

- ◆ 日 程：8月27日(土)～28日(日)
 - ◆ 宿 泊：答志島温泉 旅館 寿々波 <http://www.suzunami.net/>
〒 517-0002 三重県鳥羽市答志町 73 TEL：0599-37-2001
 - ◆ 会 費(1人)：1泊2食、会員・女性12,000円、一般15,000円
小・中学生：8,000円 ※当日現地で集めます。
・船泊の参加希望がありましたら検討します。
 - ◆ ヨット泊地：舟越港(避難港・答志島の北側)、宿の送迎あり。
※和具港でも数艇泊められますが、他のヨットが入っていると停泊できない場合もあります。
 - ◆ 申込み：8月18日(木)までに申込書をクラブハウスへ提出してください。
用紙はHPからダウンロードして下さい。また、申込時期になったらクラブハウスにも置きます。
※「富貴クラブ公式ライン」やクルージング委員へ連絡して頂いてもOKですが、後日申込書を提出して下さい。
 - ◆ 集合解散：27日(土)午後4時までに現地集合、28日(日)朝食後解散。
 - ◆ その他
- ①自艇・他艇への乗船希望は調整します、またヨット以外での参加もOK。申込時に申をお願いします。
 - ②参加者の氏名・連絡先を現地で確認します。(宿帳に記入)
 - ③荒天等が予想され中止する場合は、8月20日(土)頃に判断します。中止の場合は富貴公式クラブライン、富貴クラブHPでお知らせします。
 - ④問合せはクルージング委員、南(K&K)、舟橋(白砂)、下戸(カマレード)まで。

◆【九鬼嘉隆の悲しいロマン】 (宿のパンフより)

戦国時代水軍の勇将、九鬼嘉隆は、鳥羽に本城を構へていました。織田、豊臣に仕へ、いくつもの戦功をたてました。慶長5年関ヶ原の戦いに三成の陣営に加わります。息子の守隆は、家康の陣に父子相對することになりました。西陣が負け嘉隆はこの島に逃げのび洞泉寺に身を寄せます。息子守隆は、家康に助命を願い許されるのですが、自害をするのです。嘉隆の胸中は世のむなしさを悲しんだのでしょうか。敗将として生きながらへるのをよしとしなかったのでしょうか。今、墓は胴塚、首塚と2つ残っています。せめて首だけでも海に見える岬の頂に埋めた村人のやさしさが偲ばれます。

※首塚・胴塚は宿の近くなので、散歩コースに最適。遊歩道の一番高い所から神島方面の眺めは絶景。

答志・舟越港へのルート

- ◆舟越港は答志島の中央・北側にある避難港。
神島沖から答志島の北側をめざし、島に沿って西進する。桃取水道入口より手前(東側)

にあり、定置網に注意しながら近づく。舟越港入口は東に開いていて近づかないと確認しにくい。

※赤矢印が舟越港→

◆舟越港からは宿の送迎あり

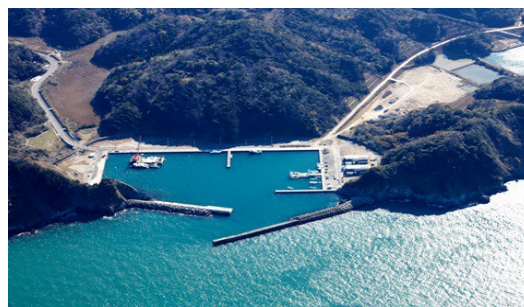
旅館「寿々波」

TEL：0599-37-2001



三重県庁HPより

◆舟越港は、答志島のほぼ中央に位置し北に向け開口し、開口部 250 m、奥行 150 m、最大巾 400 m、水深約 3 m の天然の良港である。



◆和具港は、伊勢湾口の答志島東端南部に位置し、前面に菅島、鳥羽を望んで西方に開口する天然の良港。

